は非常に採集例の少ない種として知られているが，筆者の手元に1♂の標本があるので，データを書きとめておきたい。

1♂，栃木県塩谷郡高薙山，8. Ⅷ. 1964,
森島直哉採集

西沢金山跡から日光沢温泉へぬける道で採集したもので，高薙山の標高1,600〜1,700m地点であった。ブナ林の中で花に飛来していた個体である。

(〒321-14　日光市花石町 1823)

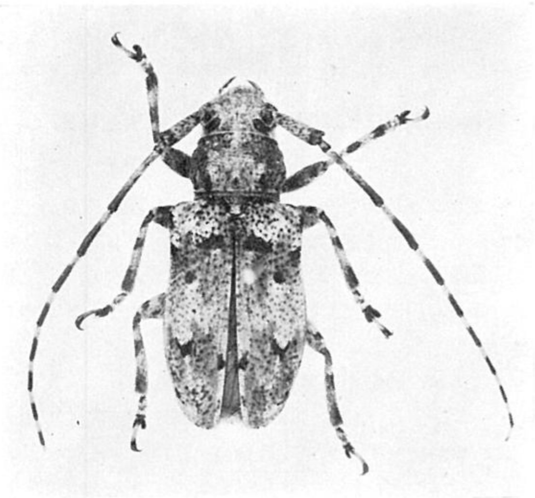
沖縄本島産オキナワゴマフカミキリの採集例

森島　直哉

オキナワゴマフカミキリ *Mesosa* (*Perimesosa*) *pictipes* GRESSITT の沖縄本島産原亜種は，GRESSITT (1937)の原記載以来まったく採集されていないようだが，筆者は同島南部にて本種を採集しているので報告しておく。

1♀，沖縄本島糸満市，20. Ⅶ. 1964，森島直哉採集

沖縄が日本に返還される以前の記録で，ラベルの地名は“沖縄”とのみ記入されている。詳しい採集地はよく覚えていないが，史跡巡りのバスに乗って南部の海岸を回っていた折に採集したもので，恐らく“健児之塔”か“姫百合の塔”かのどちらかであったと思う。生木の幹に止っていたものを採集した。



この個体は奄美大島産の ssp. *miyamotoi* と比較すると，上翅が短く丸味を帯びており，石垣島産の ssp. *yayeyamai* に似た体型をしているが，白毛が多く上翅斑紋も異なっている。

(〒321-14　日光市花石町 1823)

ヒゲブトハナカミキリをミズメ伐採木中より採集

武智　昭一

ヒゲブトハナカミキリ *Pachypidonia bodemeyeri* PIC は「日本産カミキリの生態と分布一覧表」(草間, 1973)によれば，花上や飛翔中のもの，およびサクラの木に飛来したもの（九州）が採集されているとあるが，筆者はミズメ *Betula grossa* SIEB. et ZOCC. の伐採木材中より本種2♂♂1♀を採集したので，その状況を報告しておく。

日　　時: 1975年7月26日　午後5時40分頃。

採 集 地: 東京都奥多摩日原本谷の林道最奥の貯木場。（標高約1,000m）

天　　候: にわか雨ののち，1時間ほど経過して日照あり。

材の状態: 2.5mくらいの高さに積まれた雑多な広葉樹伐採木の中の1本で，地表より1.2mの高さにあった。長さは約3m。直径45〜50cmで，芯部は直径25cmくらいの空洞となっている。材部は堅く，樹皮はしっかりと材部についていた。

採集位置: 空洞の内側をのぞいたところ，切り口より10cmほど内部の，ちょうど時計の5時の位置に1♂が頭部を出して脱出中であった。さらにピンク色をした繊維状の木屑が露出しているところから孔道を追跡したところ，2ヵ所で蛹室中の成虫1♂1♀が得られた。各蛹室は接近しており，3個共直径10cmの範囲内にあった。蛹室の形状は長径40mm，幅12mmほどの卵形で，空洞の表面と蛹室の間の厚さは2〜3mmであった。

空洞の状況: 切り口より40〜50cmから奥は腐触して多孔質となった芯部が残っており，入口付近は表面の2〜3cmをそのような多孔質の部分が覆っていたが，蛹室のあった付近は未腐触の堅い材部で，蛹室はこの堅い表面の下にあった。

この採集を伝え聞いて，後から訪ずれた人達によってもやはり同じ木の空洞内で本種の成虫や成虫の破片が得られているようである。終りに，種々ご教示いただいた藤田宏氏に深謝する。

(〒197　福生市福生 1530　加美平団地 9-506)